



本庄繁長をPRするため4月21日に行われた「出陣式」—村上市門前の耕雲寺で(本庄繁長公没400年祭実行委提供)

# 戦国武将・本庄繁長没後400年 市民らで観光振興

NIIGATA  
まち・話題

## 居城があった村上市

今年、戦国時代の村上城主で、上杉謙信・景勝に仕えた武将、本庄繁長(1540~1614)の没後400年にあたる。生涯で85回の戦に臨み、一度も敗れなかったという武略家だ。村上市では、繁長が戦を終えて凱旋した時の様子が、村上大祭で山車「おしぎり」を先導する「荒馬」として伝わるが、繁長が戦国時代をどのように生きたかを知る市民は少ない。そんな繁長の偉業をたどろうと、今年2月、地元有志らが「本庄繁長公没400年祭実行委員会」(飯沼与三委員長)を結成した。ゆくゆくは繁長による町おこしにつなげたい考えた。

## 生涯で85回戦い、一度も敗れず

【真野敏幸】  
時から波乱の人生だった。13歳になると叔父に反乱を起こして父の仇討ちを果たし、本庄家親が叔父の裏切りによる憤死。母親は瀕死の刀傷を負いながら繁長を出産した。生まれた

繁長は城主の息子として生まれる直前、父の当主に。その後、越後を治める上杉謙信の刀傷を負いながら繁長を出産した。生まれた

島の戦いなど各地を転戦し、武功を挙げた。1568年、武田信玄の求めに応じ、上杉家からの独立を狙い奉る。謙信から猛攻を受けるが、落城せず和睦した。その後上杉家に任せ、新発田重家討伐、庄内出兵などで活躍した。

## 不屈の精神をPR

「何度も苦境に立たされたながら、不屈の精神ではねのけ、75年の生涯を全うしたところが繁長の魅力。多くの人に繁長を知ってもらい語り継いでほしい。繁長公没400年実行委員は、こう話す。村上市出身の会社員、堀田亨さん(59)らが発起人となり、発足した。堀田さんは実行委の事務局長を務める。

実行委はイベントの開催を通して繁長のPRを開始。4月には、記念行事第1弾として、繁長が父の13回忌に叔父を追い詰め切腹させた耕雲寺(村上市門前)で、小学生ふんする少年繁長が登場するなどの「出陣式」式典や講演会を行い、約150人の歴史ファンらが詰めかけたという。

出陣式を皮切りに、講演会や繁長の墓所での400回法要参列

1600年の関ヶ原の戦いでは、上杉家は徳川家康に反旗を翻し、石田三成側の西軍に付く。主君に従って西軍に付いた繁長の軍は、兵力に勝る東軍の伊達政宗相手に、福島城に籠城し、撤退を意味する「武人八幡」の称号を与えた。

1614年、福島城で没。75歳だった。生涯で85回の戦に臨み、一度も敗れなかったことから、上杉景勝は武勇をたたえ、戦の神様を意味する「武人八幡」の称号を与えた。

がある福島市と交流を図る計画もある。現在、村上市に繁長に関する銅像や博物館などはない。堀田さん

は「繁長は戦国時代を代表する武将。いずれ大河ドラマや、観光施設が誕生すれば」と期待を込めた。繁長による観光振興に夢は膨らむ。

実行委の活動は今年度限りだが、同時期に設立した歴史愛好団体「本庄繁長公の会」は存続させる。会員数は現在約60人。年会費2000円。会員には繁長についてまとめた冊子を配布するなど特典がある。問い合わせ先は同会ホームページ<http://siniganasaindo.com/>から。事務局(080-5432-6540)。